

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 総合性能評価システム 建築物環境総合性能評価システム (CASBEE) 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	金山・高沢産業ビル新築工事	階数	地上8F
建設地	愛知県名古屋市長区金山町一丁目1108番、1109番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	220 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2025年12月12日
敷地面積	505 m ²	作成者	
建築面積	289 m ²	確認日	2026年1月7日
延床面積	2,209 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア=3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア=3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア=2.8

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア=3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア=3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	名古屋市長区に建設される事務所ビルである。	その他 特になし。
Q1 室内環境	天井裏も含めてF☆☆☆☆の建築材料を使用し、室内空気質環境を良好に保つための配慮をしている。	Q3 室外環境(敷地内) 適切な緑地づくりをし、生物環境の保全と創出に努めている。
LR1 エネルギー	高い外皮性能の熱負荷抑制により、省エネルギーで快適な室内環境を形成する。	LR3 敷地外環境 周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い材料を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材料を使用し、建物の環境負荷の軽減に努めている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

重点項目スコア・結果シート

金山・高沢産業ビル新築工事

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策				3.7
LR1	エネルギー	3.8	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.7	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				2.9
Q3.1	生物環境の保全と創出	3.0	0.092029237	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009202924	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.046014618	
3. 循環型社会				3.5
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.6	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

結果

1. 温暖化対策	評価点 = 3.7
2. 自然共生	評価点 = 2.9
3. 循環型社会	評価点 = 3.5

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2)地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4)地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。